

## 第3次江津市環境基本計画(案)パブリックコメント(意見公募)の結果について(回答)

### 1. 実施概要

案件名	第3次江津市環境基本計画
担当課	市民生活課
意見募集期間	令和5年1月6日～2月5日
意見提出者数	1名
意見提出件数	4件

### 2. ご意見と市の考え方(総括)

反映区分	件数
A: 意見を反映し、計画等を修正したもの	2件
B: 意見が既に計画に反映されているもの	1件
C: 今後の参考とするもの	1件
D: ご意見を計画等に反映させないもの	0件
E: その他の要望や質問、感想など	0件

番号	意見の内容	市の考え方及び意見の反映	区分
1	再生可能エネルギーは江津市の税収にも貢献しています。令和3年見込み、再エネに係る税等の歳入、固定資産税9,187万8,000円、国有資産等所在地市町村交付金4,457万3,000円、電源立地地域対策交付金444万8,000円、高野山風力発電所周辺地域活性化支援事業補助金136万3,000円、計1億4,226万2,000円。このような大きな収入があることも基本計画に盛り込み、再エネ施設の増加は税収増で市民にもメリットがあることを周知されてはどうでしょうか。	○P84「現状と課題」の■1つ目「本市には～」文の終わりに「これらの設備はゼロカーボン社会の構築に寄与するだけでなく、税収等の点からも市政に貢献しています。」を追加しました。	A
2	①環境学習について 江津市の海岸にもゴミが多く漂着しています。子どもたちの環境学習、市民活動、市外の方のボランティア活動として、ビーチクリーンアップを位置づけ、回収したゴミの収集などの支援も計画に盛り込まれてはどうでしょうか。  ②小型家電リサイクルについても方針を明記して欲しいと思います。	①環境学習について ○P78環境美化の推進において「市の施策」の■4つ目「地域の環境美化活動や～」の文章を以下の文章に変更しました。「地域の環境美化活動や海岸清掃等の取組への支援を強化し、ゴミ袋の配布をはじめ参加者の拡大に努めます。」  ②小型家電リサイクル ○P70現状と課題■4つ目に、「使用済小型家電については、金物類として収集し、島の星クリーンセンターで分別し、再資源化を行っています。」を追加しました。 ○P71「市の施策」に「使用済小型家電類は収集、分別、引き渡し等を安全で効率的に行い、再資源化を推進していきます。」を追加しました。 ○P71「市民の取組」に以下の文章を追加しました。「家電リサイクル法に基づく特定家庭用機器やパソコン等の小型家電は、環境省・経済産業省等の認定を受けた認定事業者に取り取ってもらいリサイクルを推進しましょう。」	A
3	高齢化や核家族化の進展などにより江津市内においても高齢者のみの世帯が増えています。そのため、家庭からのごみ出しに課題を抱えるケースが増加しています。江津市におかれましては高齢化社会に対応した廃棄物処理体制の構築が求められます。 江津市においてもごみ出しが困難な世帯に対する市による戸別収集など支援制度の導入を環境基本計画に盛り込んで欲しいと思います。(P70)	○ごみ出しが困難である高齢者の方は日常生活全般の支援が必要な方であると思われます。このため、どのように支援をしていくかは、生活支援や介護支援等の関係部署との協議・連携するなど、高齢者支援について幅広く検討していく必要があります。 今後、関係機関と協議検討を進め、方向性等が決まり次第、環境基本計画へ反映させたいと考えます。	C
4	P68、市公用車へのハイブリッド車、電気自動車の導入 江津市の方針としては、電気自動車は環境問題の改善や燃費等の節減+災害発生時の電源として有用であり、現行の公用車のリース契約更新時にあわせ順次導入を検討するそうです。一方ハイブリッド車は欧米ではエコカーとして位置づけられなくなっています。「電気自動車、プラグインハイブリッド車の導入」へと変更されてはどうでしょうか。	○ガソリン車からエコカーへの流れは世界的な潮流ではありますが、EVやPHVは日本においては充電スタンド等のインフラが十分整備されておらず、急激な移行は当面は非現実的であるため、このような表現としています。	B